

JR総連推薦議員懇談会 「JR東日本大宮総合車両センター職場見学会開催」



JR総連は9月29日、鉄道開業150周年を迎えたことに因み、JR総連推薦議員懇談会に所属する国会議員を対象に、歴史あるJR東日本大宮総合車両センター(明治27年操業)の職場見学会を開催しました。当日は、新型コロナウイルス感染症対策として人数制限の他、2班に分かれての見学となりました。

この日、車両センターには、首都圏を運行する通勤型電車と成田空港駅を往復する特急成田エクスプレス(NEX)が主に入場しており、見学会に参加された国会議員や秘書の方々は、地元を走行する電車や通勤で利用する電車が解体されている様子を目の当たりにし、修繕内容の状況説明する担当者に、次々と質問を繰り返していました。

また、この日は、残念ながらSLは入場していませんでしたが、SL修繕庫や台車修繕の様子その他、塗装吹付庫などを視察し、JR東労組大宮地本の仲間が働く作業現場を間近で見学していただきました。

その後、隣接する鉄道博物館に場所を移し、運転シミュレーターや鉄道ジオラマを使ったイベントなどを堪能し、終了後の意見交換では、「機械作業や効率化が進むなか、鉄道技術は最後は人の手によることを見せてもらった」「今後もJRの政策課題について意見交換していきたい」など、活発な意見が交わされ、さらなるJR総連推薦議員懇談会との連携を確認し、見学会は成功裡に終了することができました。

立憲主義を否定する「国葬」に対するJR総連見解を发出

立憲主義を否定する「国葬」に対するJR総連見解

岸田政権は、多くの有識者をはじめ国民の60%以上が反対している安倍元首相の「国葬」を9月27日に強行的に行おうとしている。しかし、法的根拠を欠いたまま閣議決定のみで強行することは、民主主義の否定であり断じて認めることはできない。

私たちは、演説中に軽蔑され、帰らぬ人となった安倍元首相の「葬儀」自体を否定しているわけではない。私たちは、岸田政権が国民の声を無視し、立憲主義を棄てる「国葬」に反対の意を表明するものである。

岸田政権は、安倍元首相の生前の功績を「国葬」の理由としている。しかし、私たち労働者にとって安倍元首相が行ってきた戦後最長の政治は、衆惑と失敗ならびに軍拡路線であり、到底認められるものではない。

愛国教育を盛り込んだ教育基本法への改悪、「アベノミクス」という名の経済失敗、特定秘密保護法や共謀罪ならびに集団的自衛権の行使と防衛費の拡大、「森友」「加計」「桜を見る会」など衆惑と公文書の改ざんと虚偽答弁。

まさに議会制民主主義の破壊と国会職能を棄てる「閣議決定」で政策を強行してきた安倍政権の責任は問われてしかるべきである。「国葬」を機に一切を葬り去ろうとする行為を私たちは断じて許してはならない。

憲法学者の木村草太氏は、憲法上からも「国葬」に問題があるとして、①内閣に敬意・弔意を国名義で表現する儀式の権限はない。②吉田茂元首相を除く戦後の首相経験者の中で、なぜ安倍氏を特別扱いするのか、その理由がないなら「法の下の平等」違反となる。③国名義で儀式をやれば、意に反して敬意・弔意の表明に巻き込まれる人が出てきて、思想・良心の自由が圧迫される。と憲法違反であることを指摘している。

さらに、過去に内閣法制局長官が「国葬」には法制度がなく、「国葬」とするには『立法、行政府、司法』の三権の了承が必要。法的根拠が明確でない」との見解を三木首相に示し、佐藤栄作元首相の「国葬」を見送っていたことが明らかとなっている。よって憲法違反である「国葬」は行うべきではない。

岸田政権が、エネルギー政策の転換として原発推進に大きく舵を切った。この歴史的転換点に、連合芳野会長は態度を示すことなく沈黙し、さらに「労働側代表として弔意を示す」として、憲法違反である「国葬」に参加する意志を表明した。

今回の国葬の参加をめぐって、連合内では様々な意見があるにもかかわらず、参加を表明するのは連合内の分断を招きかねない。この先の連合の団結にも大きく影響する。したがって、連合芳野会長は「国葬」に参加すべきではない。

JR総連は、安倍政権下で害められてきた人たちの叫びと、国民の60%以上の反対の声を立場に立ち、労働者の広範な連帯をつくりだしていく。そして、平和・人権・民主主義を守り抜くためにも、立憲主義を否定し、強行する安倍元首相の「国葬」には反対であることを明らかにし、見解とする。

2022年9月22日
JR総連執行委員会

JR総連は9月22日、「立憲主義を否定する「国葬」に対するJR総連見解(左記)」を发出しました。連合内では様々な意見があるにもかかわらず「国葬」に参加することは、連合内の分断を招きかねず、連合の団結にも影響を及ぼしかねません。

国民の60%以上が「国葬」に反対し、「国葬」の法的根拠も欠いた中で、閣議決定のみで強行することは、憲法違反であるとともに、民主主義の否定であり断じて認めることはできません。また、「労働者側の代表として弔意を示す」として、連合芳野会長は「国葬」に参加すべきではない。

JR総連は、立憲主義を否定し強行する「国葬」に反対の立場を明らかにするとともに、労働者の広範な連帯、平和・人権・民主主義を守り抜く立場から、見解を发出してきました。

真の国鉄改革完遂に向けた抗議声明を发出

真の国鉄改革完遂に向けた抗議声明

JR西日本社長、会長を務めた井手正敬氏が産経新聞の取材に対し、「JR総連に革マル派が浸透している」との政府見解を唯一のよりどころに、「北海道と貨物にはJR総連の影響が及んでいる」と指摘し、国鉄改革の目的の一つだった労使問題は現時点でも未解決であり「改革が終焉したとは言えないかもしれない」と発言した。

JR総連はこれまでも一貫して主張してきたように、古びた「革マルキャンペーン」という誹謗・中傷に対し「JR総連は革マル派とは一切関係ない」ことを明らかにした上で、井手氏の発言に強く抗議する。

JR総連は「労使共同宣言」の精神の下、血と汗と涙を流しながら組合員の職場と雇用と生活を守り、鉄道の復権を成し遂げるために組合員・家族とともにたたかい抜いてきた。その努力と実践があったからこそ、JR本州3社はJR発足時から赤字経営を成し遂げることが出来たことは言うまでもない。

しかし、JR会社が発足して5年目を迎える中、JR総連とともに国鉄改革を担ってきた井手・葛西副社長を中心とした当時の経営幹部は、JR西日本・JR東海・JR九州と相次いでJR総連加盟単組の組織破壊に乗り出した。

井手氏らの不当労働行為や人権侵害など手段を選ばない組織破壊攻撃は、国鉄改革の精神を踏みにじり、労使関係を破壊し、独善的・官僚的支配の職場体制を実現させるに至った。その結果が、安全よりも運行優先・利益優先の職場支配であり、1990年の国際鉄道安全会議のボイコット、91年の信濃高原鉄道事故、99年の山陽新幹線コンクリート崩落事故、2002年のJR東海道線救急隊員触死事故、05年のJR福知山線列車脱線転覆事故などへと連鎖した。「責任追及から原因究明へ」というJR総連が作り上げてきた安全風土を無視した経営責任は許し知れない。

JR西日本における「日勤教育」が社会的に指弾されたことはすでに明らかだが、事故の原因を現場労働者に責任転嫁し、「評価主義」を基礎に社員間の競争を煽る風土が今なお蔓延るJR西日本の企業風土こそ、まさに「改革が終焉したとは言えない」現実である。

JR総連はいかなる組織破壊攻撃も許さず、今なお真の国鉄改革完遂に向けて奮闘するJR西労・JR東海労をはじめとする加盟各単組の仲間と共に、真実に基づく正義の道を堂々と歩むものである。

2022年10月3日
全日本鉄道労働組合総連合会

JR総連は10月3日、「真の国鉄改革完遂に向けた抗議声明(左記)」を发出しました。

10月2日付の産経新聞で、JR西日本社長・会長を務めた井手正敬氏がインタビューに答え、「JR総連に革マル派が浸透している」という政府見解を唯一のよりどころに、「北海道と貨物にはJR総連の影響力が残っている」と指摘し、「国鉄改革が終焉したとは言えないかもしれない」と述べました。

JR総連は、これまで一貫して主張してきたように、古びた「革マルキャンペーン」という誹謗・中傷に対し「JR総連は革マル派とは一切関係ない」ことを明らかにした上で、井手氏の発言に強く抗議し、声明を发出してきました。

JR総連は、これまで一貫して主張してきたように、古びた「革マルキャンペーン」という誹謗・中傷に対し「JR総連は革マル派とは一切関係ない」ことを明らかにした上で、井手氏の発言に強く抗議し、声明を发出してきました。

中国地協「第35回定期委員会」を開催

JR総連中国地協は9月24日、「第35回定期委員会」を広島市東区民文化センターで開催しました。今年是对面開催としましたが、コロナ感染症対策として規模を縮小し開催しました。西田議長は挨拶で、2022JR総連春闘での低賃金への抑え込みに対する悔しさ、2023JR総連春闘にむけてなどについて述べました。

JR総連山口委員長は来賓挨拶で、2023JR総連春闘にむけた統一要求づくり、自衛隊の再編など日本の平和に対する危惧などを訴えました。

議事では、春闘についてのほか、「核兵器禁止条約」の動向や被爆77周年原水禁の取り組み、映画「日本原」製作協力などの経過を確認した後、戦争や政治など平和の課題、地球環境やJR各社の動向などを意思統一し、支社再編やローカル線廃止に対して闘いを創り出すこと、加えて県協議会の組織体制変更などの方針を提起しました。

発言では、JR貨物脱線事故対策などの安全課題について、JR西日本の賃金カットでの闘いの成果と不当な人事異動発令での闘いについて述べられ、方針の補強が図られました。

総括答弁では、職場だけでなく地域から、この社会の厳しい現状を変えるため立ち上がることを訴え、各議案について満場一致で採択され、2022年度役員体制を確認し、委員会宣言を採択して終了しました。

【2022年度新体制】



議長	西田 茂(西 労)
副議長	井上 寛雅(貨物労組)
事務局長	湯谷 邦彦(西 労)
常任委員	沼田 公男(西 労)
〃	前原 浩治(西 労)
〃	角南 巨流(西 労)
〃	石原 健年(貨物労組)
〃	松田 育典(西 労)
〃	上野 圭助(西 労)
〃	盛重 耕二(西 労)
〃	金子 眞一(西 労)
〃	名越 大祐(貨物労組)
〃	寺井 等(西 労)
会計監査員	

神奈川臨海鉄道「根岸駅・横浜本牧駅」を視察!

9月27日、JR総連はJR貨物労組と共に、神奈川臨海鉄道株式会社と神奈川臨海鉄道労働組合のご協力のもと、神奈川臨海鉄道の根岸駅と横浜本牧駅の視察をおこなってきました。

根岸駅では、到着した石油列車の入換え作業を見学しながら構内の概要説明を受け、秋冬繁忙期には一日で約250両にも及ぶタンク車を発送していることなど、作業などについて説明を受けました。

次に、横浜本牧駅に移動し、横浜本牧駅の歴史や、取り扱われている荷物や、本牧ふ頭へ延びる専用線などについて説明を受けました。

その後、機関庫に移動し、国鉄横浜機関区で活躍し、除籍後は国鉄中央鉄道学園の教習車に使用され、現在は、横浜に里帰りし静態保存されているC56機関車の見学をおこないました。また、到着するコンテナ列車に合わせて、駅社屋屋上から入換え作業を見学してきました。

意見交換では、横浜本牧駅から発送する荷物のリードタイムの短縮にむけた具体策や、海上コンテナ輸送などの課題について、活発に意見が交わされました。



「もしも」に備え「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。



公式キャラクター
ピットくん

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済 (全労済)
coop

全国労働者共済生活協同組合連合会

交運労協「第38回定期総会」



10月4日、交運労協「第38回定期総会」が都内で開催され、住野敏彦議長は冒頭の挨拶で「新型コロナウイルススによって落ち込んだ需要回復をめざし、産別の枠を超えて課題を共有し連携してたたかおう」と呼びかけました。

質疑では4名（航空連合、JR

連合、航空連合、JR総連の順）が発言にたち、JR総連を代表して小林政策・政治部長からは、「国は、特定線区再構築協議会（仮称）をつくり、最長3年以内にローカル線の存続方法について方針を出すとしている。JRの一部経営者は、収支が見込めない不採算路線は、路線バスで十分だとの認識を示している。これでは安易なバス転換という結論ありきの協議会になることを危惧する。また、北海道新幹線札幌開業に伴う長万部～函館間の並行在来線の課題についても、廃線協議に自治体が合意してしまうと、北海道から本州につながる鉄道貨物の物流は途切れてしまう。労働組合の声なき安易なモード転換が先行することのないよう交運労協においては、労働者代表として参画する協議会および政界などに対し、より一層の働きかけを要請する」と述べました。

その後、事務局長による答弁を受け、代議員の拍手によって全議案が承認され、総会宣言を採択し、すべての議事が終了しました。最後に、住野議長の団結ガンバローをおこない、総会は終了しました。

さようなら戦争 さようなら原発 9.19集会

9月19日、東京・代々木公園にて「改憲発議と大軍拡やめろ！ さようなら戦争 さようなら原発 『戦争法』 強行から7年 福島原発事故を忘れない 9・19大集会」が、台風の影響により時折強い雨が降る中で開催され、1万3千人（主催者発表）が集まりました。集会には、多くの市民や平和団体、労働組合が参加し、JR総連は9条連の仲間とともに、140名で参加してきました。

作家の落合恵子さんは「ウクライナ侵攻に乗じて、原発の再稼働と新增設。一体何を見てきたのか。『国葬』『国策』『国』という字がつくものが、どれほど私たちを苦しめてきたか。はつきり『NO！』と言いましょ！」と訴え、総がかり行動青年プロジェクトの井田敬さんは「国葬をやりたがる人は『純粹に人の死を悼め』と言うが、沖縄戦の犠牲者の遺骨を含む土砂を、（辺野古の）埋め立てに使うのはいいのか」と訴えました。

また、ルポライター鎌田慧さんは閉会の挨拶で「岸田首相は、『国葬』『安保法制』『原発の再稼働や新增設』を進めようとしている。このメチャクチャな政治を許さず、変えていく一歩を踏み出そう！」と訴えました。

集会終了後は、渋谷の街をデモ行進し、プラカードを掲げて「改憲反対！」「原発の新設・再稼働反対！」と訴えてきました！



渋谷の街をデモ行進する

コンビニなどの提携ATMの引き出し手数料 実質 0円

ろうきんのキャッシュカードでお引き出しができる場所はコチラ

R355h セブン銀行 ローソン銀行 net
 三井住友銀行 郵便 ゆうちょ銀行 VIEWALTE

あなたと家族に安心届けます。保険はおまかせください。

各種のお問い合わせは、パソコン・スマホ、から可能ですので、ご利用をお待ちしております。

《取扱商品》

- ▲ 自動車保険・火災保険 サークル保険
- ▲ がん保険・医療保険・介護保険 給与サポート保険
- ▲ JR積立年金
- ▲ すみっこ商店・伊東さつき会館

JR総連・各単組賛助団体

(株)鉄道ファミリー 検索

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13 目黒さつきビル
 TEL 03-3490-3862 FAX 03-3491-7198